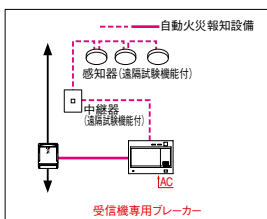


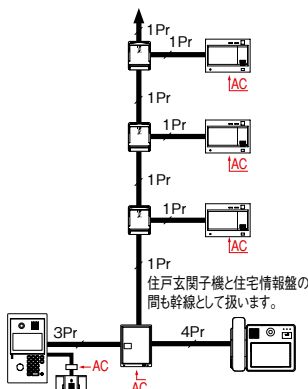
施工上のご注意

●自動火災報知設備としての施工が必要になります。(総務省令第40号対応として設備する場合)



- 自動火災報知設備の部分は、消防関連法規と総務省令第40号で定められた施工が必要です。また、設計・施工には「消防設備士」の資格が必要です。
- 所轄の消防長、消防署長に届け出、検査を得ることが義務づけられています。また、定期的に点検し、消防長、消防署長に報告することが必要です。詳しくは、消防関連法規と総務省令第40号をご確認ください。
- インターホン設備と自動火災報知設備は分けてご設計ください。

●幹線はFCPEV0.9mmツイストペア線を使用してください。



ツイストペア線の表示例

3Pr(2Pr)* FCPEV 0.9mm-3Pr 5Pr(4Pr)* FCPEV 0.9mm-5Pr

1Pr // -1Pr 3Pr // -3Pr

*印()内は使用ペア数です。

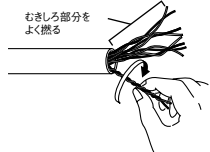
接続図の表示と接続上のご注意

FCPEV0.9〇Pr

1. ペアにする端子は配線図例のとおりとしてください。ペアの組み合わせが異なると動作上のトラブル発生の原因となります。
2. ペア線の片側線がある場合(5線など)、あまり線は他の配線に使用しないでください。
3. 接続する端子名は、両方同じとは限りません。よくご確認の上、接続してください。
4. 図示の端子の並びは製品と異なります。

幹線にFCPEV0.9mmツイストペア線を使用しない場合、誤動作したり通話中に雑音が入る原因となります。

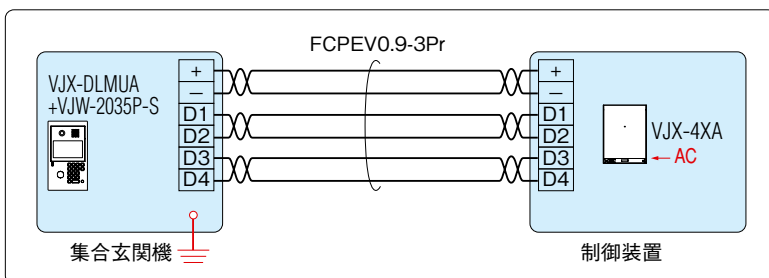
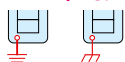
●FCPEV線は各ペアごとに分けたあと、各ペアごとによく撚ってください。



- 誤結線(ペア間違い)が防げます。
- 映像信号の損失が防げます。

- 最終端の住宅情報盤までの距離と設置台数の条件を満たしてください。
→P.50 参照
- 住戸アダプターで終端設定を必ず行ってください。
- アース表示(≡または⚡)のある商品は必ずD種接地工事をしてください。

※アース工事がされていない場合、外部及び機器間のノイズにより誤動作したり、通話中に雑音が入る原因となります。



1 集合玄関機
2 新設住戸の配線
3 VIXUS
4 1Pr
5 Plus
6 WASH 7
7 WASH GP
8 WASH 標
9 PAT MO
10 VIXUS
11 カムカメラ
12 住戸系統
13 集合住戸
14 保安システム

VIXUS HORIZO